

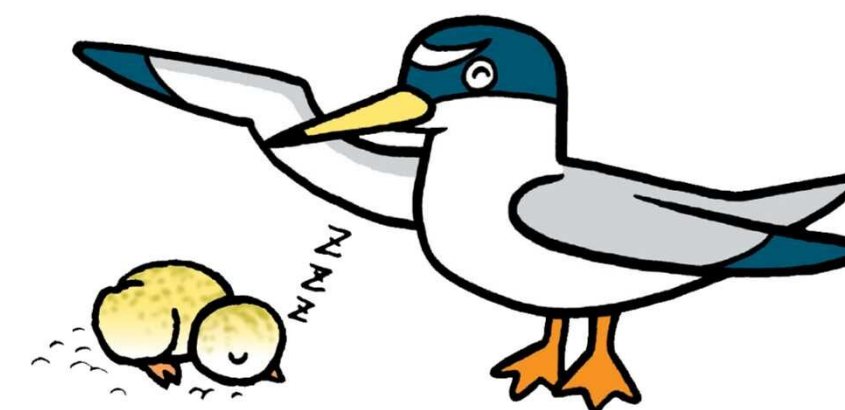


東京湾に生息する、海の隣人たち大集合。

わたしたちだけではない、海の仲間。

東京湾を利用しているのは、わたしたち人間だけではありません。
魚貝や鳥、エビやカニなど、命の源である海を舞台にして

- ・ 生きている生物は数多くいるのです。
- ・ このパネルでは、東京湾に生息する主な生物を紹介します。



港
(岸壁)



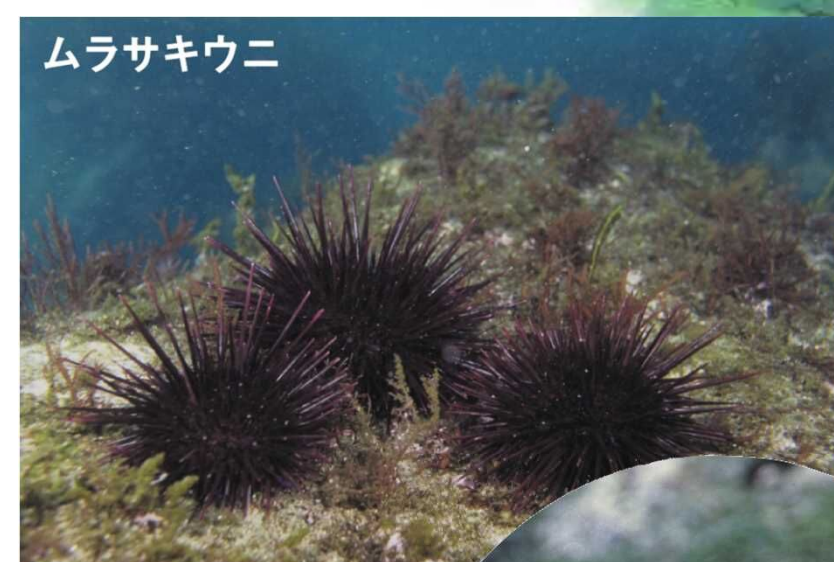
国内外の貨物を運搬する船が安全に接岸できるようにになっている区域。潮が引いた時の岸壁や防波堤に、フジツボやムラサキイガイなどが付着しているのが見られます。このムラサキイガイは、海水中の有機物を摂取するなど、海水浄化力を持っているといわれています。

砂浜には、砂地の海域を好むマコガレイ、コチなどが多く見られます。また、東京湾の味覚の名物・アナゴも、砂泥域にもぐって生息しています。



干潟

干潟とは、満潮時には海になり、干潮時には陸になる、砂や泥が堆積してできた場所。干潟には海の汚れとなる有機物を食べる生物が多数生息しているので、海域環境を浄化する機能を有するとされています。エサを求めて鳥の飛来が多いのも特徴のひとつ。



磯



環境によって
棲んでる生きものが
ちがうんだね

磯には、満潮時は海とつながり干潮時に海水がたまる、潮だまりが点在しています。カニや小魚、イソギンチャクなど、潮だまりにはいろいろな生物が生息しています。多彩な様相は、まるで水族館のよう。

砂浜





美しい海を守るために。東京湾の未来のために。

かけがえのない東京湾のために。

大切な財産である東京湾の海洋環境を守るために、国や港を管理する地方公共団体(港湾管理者:千葉県・東京都・川崎市・横浜市・横須賀市)が、海に浮遊するゴミや油を回収しています。



川崎港

- つばき
- 第一清港丸



横浜港

- 清浦丸
- 青海丸
- 蒼海丸
- 清港丸
- 清栄丸



横須賀港

主に海浜に漂着したゴミを収集

第三管区海上保安本部

警察や消防、各自治体と連携し、海・空からの監視を行っています。また、ゴミを発見した場合は、担当海域の管理者等に回収を要請。



東京港

- 第一清海丸
- 第二清海丸
- 第三清海丸
- 第五清海丸
- 第六清海丸
- 第七清海丸
- 清海丸



千葉港

- せいこう
- せいかい
- 第二せいこう



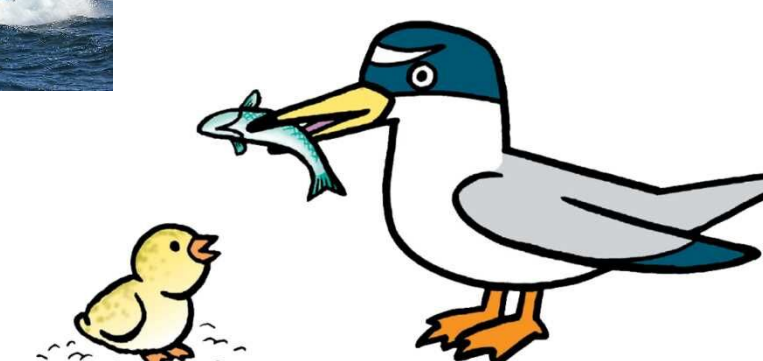
木更津港

- きよみ



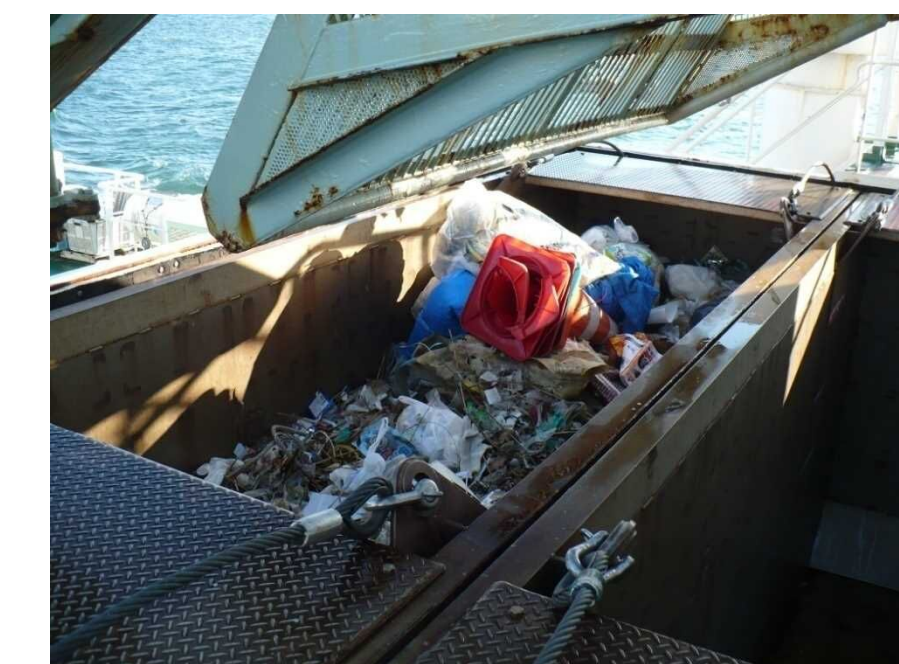
一般海域

- べいくりん



海を汚し航行の安全を脅かす、「浮遊ゴミ」の回収作業。

浮遊するゴミは海を汚すばかりでなく、海難事故や生態系への悪影響などを引き起こします。浮遊ゴミの回収作業を通して、美しい海を守っていきます。



海洋生物にも被害を及ぼす、「浮遊油」の回収作業。



現代生活になくてはならない「油」ですが、油が海に流出すると、たちまち私たちの暮らしを脅かす存在になります。海を汚し、生態系を壊し、死の海へと導くのです。浮遊ゴミだけではなく浮遊油の回収も、わたしたちの重要な業務のひとつなのです。



海の蒼さをいつまでも、清掃兼油回収船“べいくりん”

東京湾の美しさを守りつづける、海洋環境整備事業。



船名“べいくりん”に
込められた願い。

清掃兼油回収船の名称は、一般の方からの公募により決められました。

多数の応募の中から、「ベイ(湾)をクリーンにする」という意味をもつ“べいくりん”が選ばれたのです。

べいくりんData

船質……………銅
船型……………非対象双胴
全長……………約33.5m
全幅……………約11.6m
深さ……………約4.2m
喫水……………約2.64m
総トン数……………約193G/T
速力……………約14.3ノット
主機関……………船用高速ディーゼル1100ps以上×2基
推進器……………スキュー型可変ピッチプロペラ×2基
油回収方式……………油分濃縮型油回収装置
ゴミ回収方式……………油圧スキッパー
建造年月……………令和4年2月
……………
所属……………東京湾口航路事務所
基地港……………横浜港



浮遊ゴミの回収

スキッパー



船体中央部に備えられた、大きな金属製のカゴがスキッパーです。双胴間にカゴを降ろし、海上の浮遊ゴミをすくい取ります。デッキ上と操舵室の両方から操作できます。

海上に漂う浮遊ゴミをふたつの胴体でまたぐように航行し、デッキ中央に開けられた穴からスキッパーを海面に降ろします。

金網でゴミをすくい、一定量がたまったらスキッパーを180度回転させて、デッキに備えられたゴミコンテナに積み込みます。

ゴミコンテナ



容量15㎡のコンテナを2個搭載。回収したゴミを陸揚げする際には、コンテナごと吊り上げ、底板が観音開きになりゴミを陸上回収します。

多関節クレーン



巨大な流木や大型粗大ゴミといった、スキッパーではすくえないゴミの回収作業を行います。

約2.0t/10.0m（吊上荷重/ブーム長）

浮遊油の回収

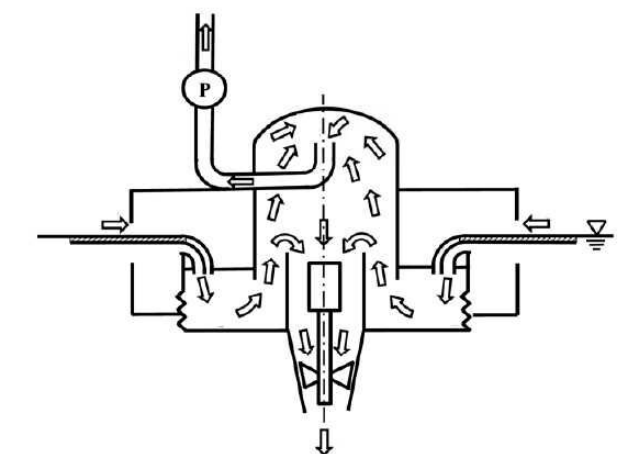
油回収器



油回収器は、「油分濃縮型油回収装置」を装備しています。

「油分濃縮型油回収装置」は海面の表面に浮遊する油水を浮遊堰から回収器内に取り込むと、回収器の上部に油分が溜まり、この溜まった油分のみを上方から吸引ポンプで吸引するため、効率良く油を回収出来ます。

容量8㎡の油回収タンクを2個搭載しています。



油吸着マット



海上の油を吸わせてからスキッパーで回収するための、吸着マットを装備しています。

放水銃



船首に備えられた2機の放水銃で、海面上の油膜をかく拌し気化させます。揮発性の高い油に効果があります。





東京湾で回収しました。こんなゴミあんなゴミ。



木材や丸太



その他の
ゴミ



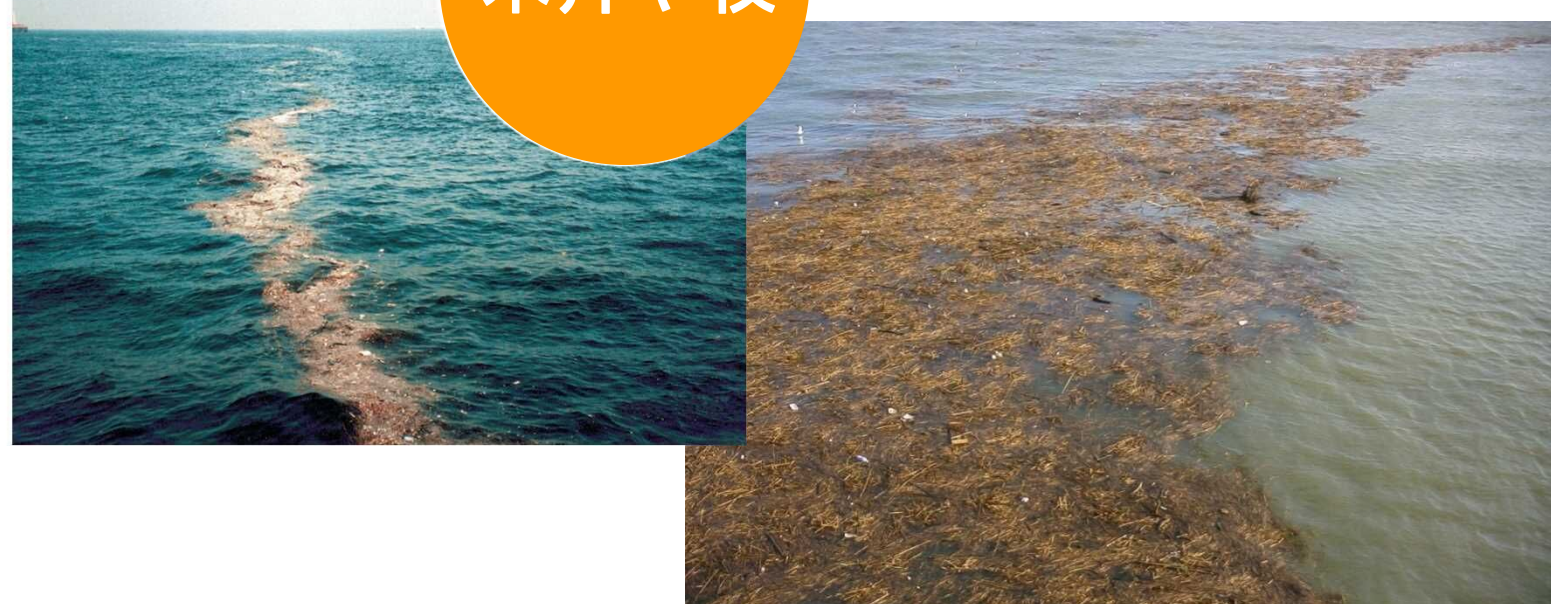
草・竹・海藻

ビン・カンから流木、そして家電まで、
東京湾で回収されたゴミは実にさまざま。
海は多大な被害を受け、悲鳴をあげているのです。

こんなにいろんな
ゴミがぼくたちの海に
あったんだあ

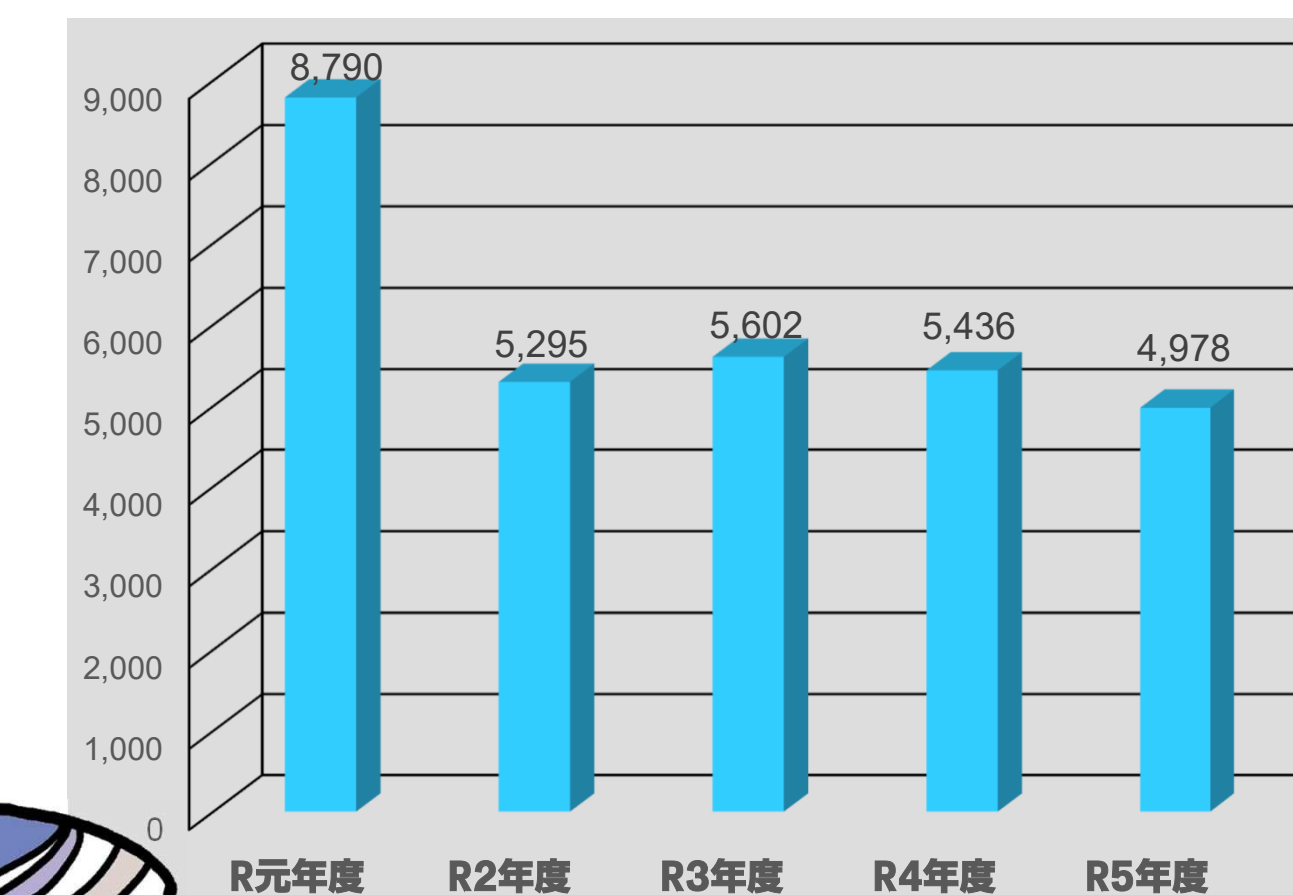


木片や枝



ビン・カン・
ビニール

東京湾年度別ゴミ回収量



令和5年度のゴミの回収量は、4,978m³



×

約1,200台分

※2tゴミ収集車1台の容積を
約4.3m³として計算しています。

浮遊ゴミがもたらす、さまざまな影響。

さまざまな船舶事故の引き金に。

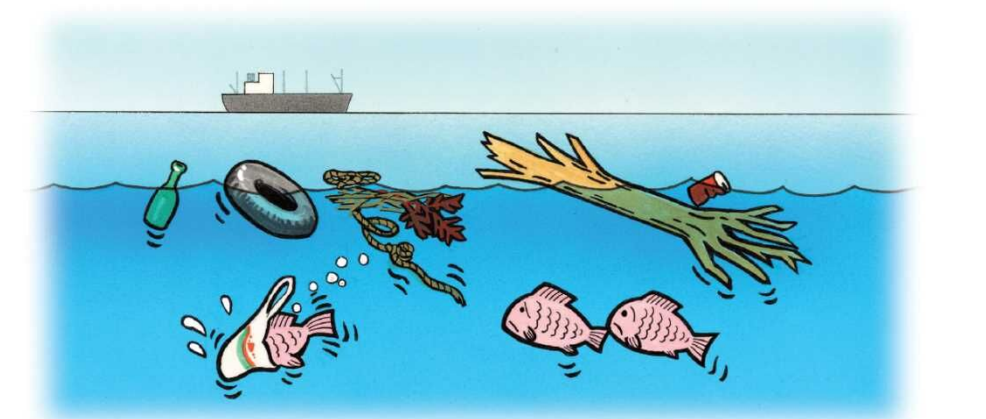
流木が船体やスクリューに接触したり、ロープなどがスクリューに絡まることにより、船舶の安全を脅かしています。



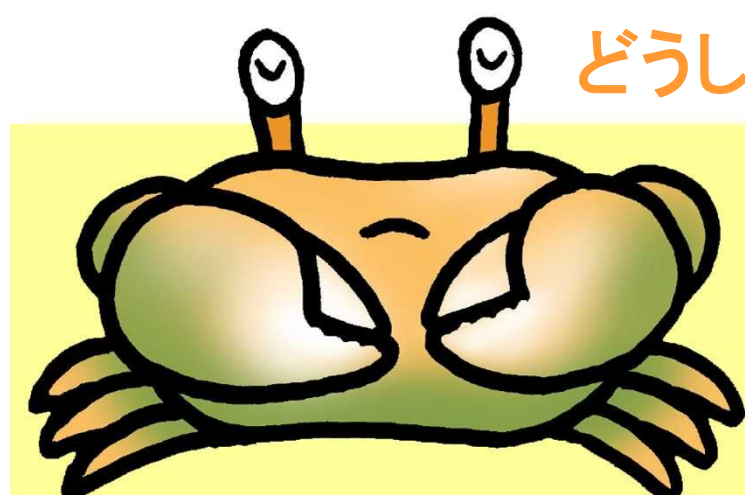
海の生き物たちの、命の輝きが。

釣り糸やロープなどが羽や小さな身体に絡みつき身体の自由を奪われた鳥や、ビニールなどを飲み込んだ魚などの報告は少なくありません。

浮遊ゴミは鳥や魚などの生物にも大きな影響を及ぼすのです。



どうして、こんなものが!? 浮遊ゴミびっくりコレクション。



東京湾で回収された浮遊ゴミの中には、実にびっくりするものがいっぱい。

家電類と聞いただけでも驚きですが、中には業務用冷凍庫やさいせん箱なども。



家電類



大型タイヤ



業務用冷凍庫



ソファ、プラ水槽



浴槽



さいせん箱



ボート



犬小屋



広告ビニール人形



首都圏にふさわしい「東京湾」を創出します。

＜快適に水遊びができる＞＜「江戸前」をはじめ多くの生物が生息する＞
＜親しみやすく美しい「海」を取り戻す＞

東京湾水環境再生計画の推進

「現在よりも一歩でも前に」を基本姿勢とし、多様な主体との連携・協働により、東京湾の水環境を少しでも改善していくこととし、大きな施策に拘泥することなく、小規模あるいは部分的な施策であっても着実に効果のあがる施策展開にも努めるとともに、国民の目線が少しでも海／東京湾に向くように行動し、海の愛好者(海ファン)を増やすように努力していきます。

東京湾の水環境を良くするための取り組み（例）

ゴミ・油の回収と水面監視の強化



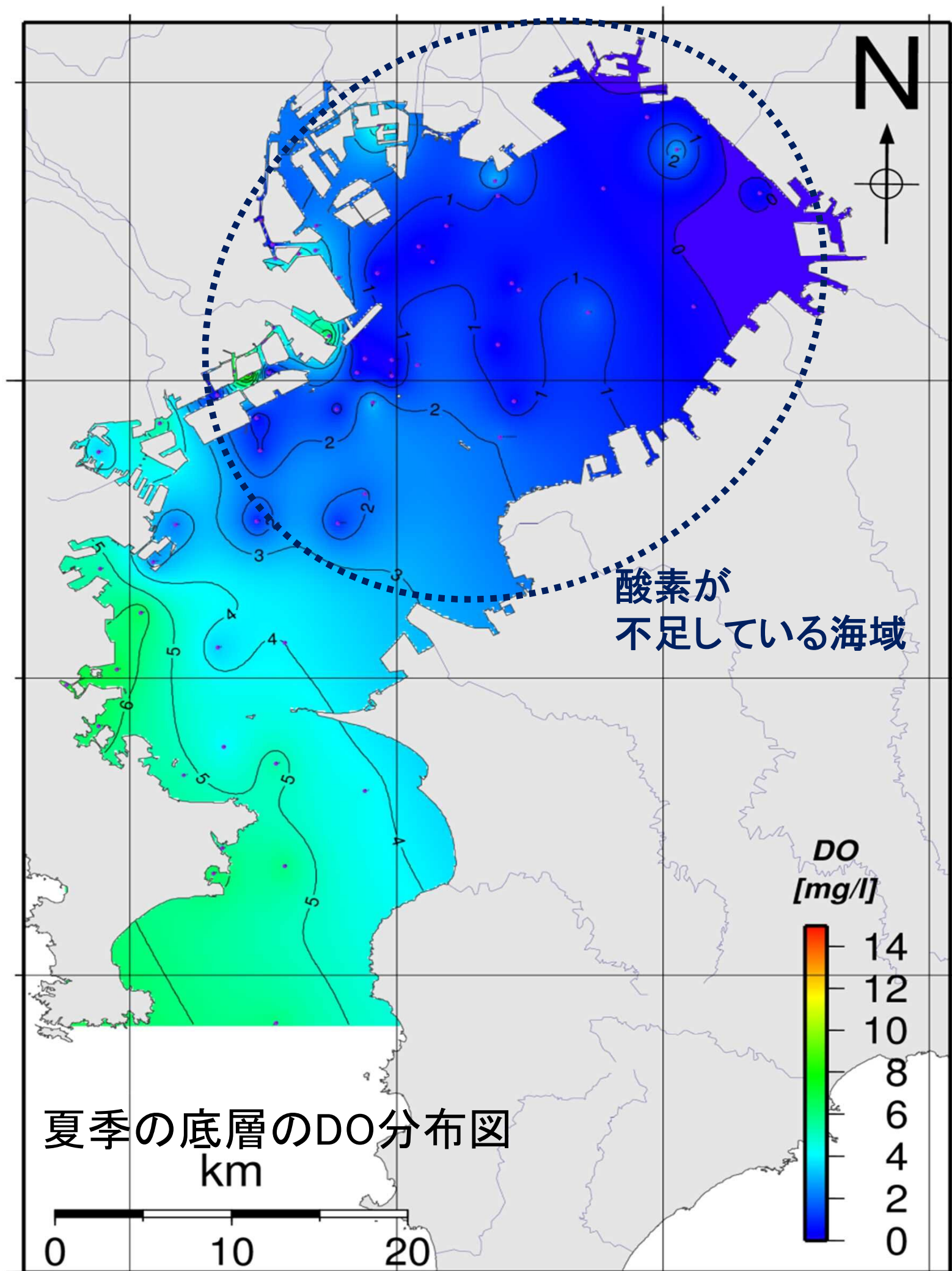
東京湾のモニタリング



モニタリングポストでの水質連続観測

赤潮・青潮の環境改善

総合的な水質改善事業の検討



※DO(溶存酸素量)は水中に溶けている酸素の量のことで、水質の指標として用いられます。DOの値が低い所では酸素が不足しているので生物が生きるには厳しい環境になります。

合流式下水道の改善



・汚濁負荷の軽減により東京湾を泳げる海に
・合流式下水道の改善による水環境の改善

良好な水質環境の創出



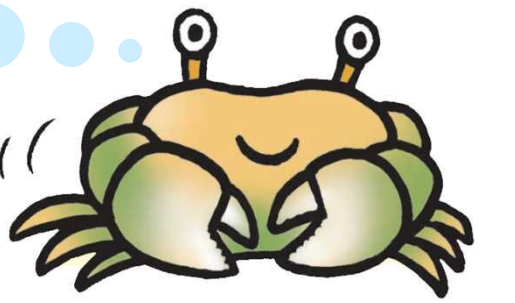
汚泥の除去、覆砂の実施、干潟の再生等による環境改善

海域環境改善



多様な主体による再生活動

自然のチカラを利用した
海をきれいにする取り組み
も進めています！



◎目に見えない海の汚れ。

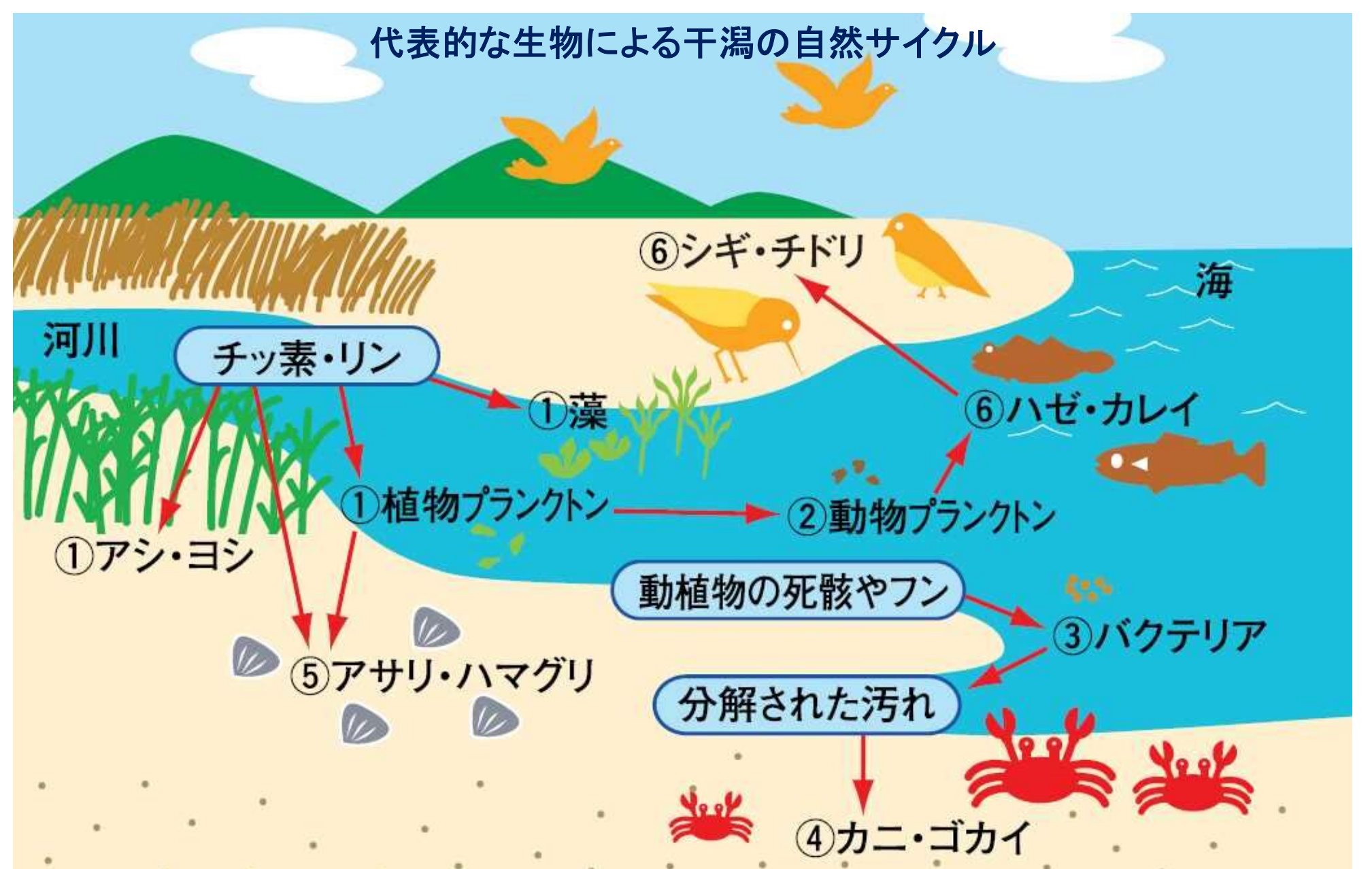
木片やビンなどのゴミばかりではなく、海水や海底の泥に含まれているチッ素やリンなども海の汚れのひとつ。これらの有機物に含まれる物質が植物プランクトンの大増殖を引き起こし、赤潮を生み出す原因のひとつとなります。

◎自然のチカラを利用して、環境改善。

海に生息する生き物は、食物連鎖などの自然サイクルによって、有機物で汚れた海水をきれいにしていきます。このサイクルが理想的に働いている場所のひとつが干潟。



ワカメの移植



①アシ・ヨシ・藻・植物プランクトン

海水や海底の泥に含まれるチッ素やリンなどを吸収して成長。

②動物プランクトン

植物プランクトンを食糧に。また、魚の餌にもなります。

③バクテリア

泥の中にある生き物のフンや死骸などを分解。

④カニ・ゴカイ

バクテリアが分解した砂の中の汚れを食糧に。

⑤アサリ・ハマグリ

植物プランクトンや水中の汚れを食糧に。海水といっしょに吸い込んでたくわえます。

⑥魚や鳥

海辺の生き物を餌に。